

製品名: ADIPOR1 (12R16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe06636**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:20-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:20-1:200
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	ADIPOR1
別名	Adiponectin receptor protein 1; Progestin and adipoQ receptor family member I ; CGI-45; PAQR1; ADIPOR1;
遺伝子 ID	51094.0
SwissProt ID	Q96A54
免疫原	ヒト ADIPOR1 の合成ペプチド

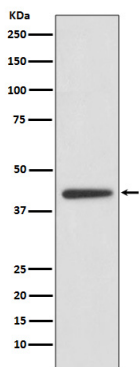
背景

アディポネクチンによる脂肪酸酸化とグルコースの取り込みを調節します。各受容体は、AMPK、p38 MAPK、PPAR α などの独自のシグナル伝達分子セットを活性化します。AdipoR1は球状アディポネクチンに対して高い親和性を持ち、全長アディポネクチンに対して低い親和性を持ち、AdipoR2は両方の形態に対して中程度の親和性を持ちます。ADIPOQは脂肪細胞から分泌され、グルコースと脂質代謝を調節する必須ホルモンです (PubMed:25855295、PubMed:12802337)。正常なグルコースと脂肪の恒常性、そして正常体重の維持に必要です。ADIPOQに結合するとシグナル伝達カスケードが活性化され、AMPK活性が上昇し、最終的には脂肪酸酸化、グルコース取り込みの増加、糖新生の減少につながります。球状アディポネクチンに対して高い親和性を持ち、全長アディポネクチンに対して低い親和性を持ちます (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



ヒト心臓溶解物中の ADIPOR1 発現のウェスタン プロット分析。